

第174回交流フロア運営会議（議事概要）

1 日時場所

日時：2026 年 10 月 7 日（水）18：30～20：00

場所：伊丹市立図書館ことば蔵1階交流フロア

2 参加者 15 人

3 会議内容

<新規発案>

（1）ポカポカ冬キャン（1月開催予定）

【概要】

・冬でも出来る暖かいキャンプ企画。テントの中でゆっくり本を読んだり、カードゲームをしたり、お絵かきをする。雰囲気を出すため、ランタンやガーランド、キャンプの椅子などを置く。

・読書会コーナーの目的は、みんなに読書を好きになってもらうこと。小学生向けに有用なジャンルの本を用意し図書館で本を1冊は借りてもらう。お絵かきコーナーの目的は、動物や乗り物、植物の絵を描いてもらいことば蔵に来る皆さんと仲良くなること。カードゲームコーナーでは、テントの中で大人数でも楽しく UNO やトランプをする。

【意見】

・ポップアップテントの大きさは？

→大きいものでは5人ぐらい入れる。中ぐらいのサイズで4人入れる。

・予備のテントではプロジェクターで画像を投影してみては。

・小学生 3 年以下の子どもに寝転ぶことを禁止するのは難しい。予備テントだけでも許可してみては。

・簡単なのでダンボールで草を作って雰囲気をだしてみては。凝るのなら小動物や川なんかを作ってみてもよい。

・集客を考えれば、自分たちの周りにもチラシを配布すればどうか。

・鳥の声や自然の音を小さく流すと雰囲気がでる。

（2）第5回きつと役立つ！偉人の名言・名句等をわかりやすく解説する講座

（2月開催予定）

【概要】

・人生に役立つ名言の解説を今まで4回実施している。参加者の多くが60代から80代の方が中心であり、イベントのアンケートでも喜んでもらえているので、この方々に刺さるものにしていきたい。

・前回 50 個ぐらいの名言を解説したが時間が足りなかったので時間を 1 時間 30 分に伸ばして、対話の時間も確保したい。

【意見】

・時間が延長しても構わないか。
→次のイベントに影響がなければ、少々の延長なら今までもあった。
・一人の女性が突然笑ったりして困った。
→許せる範囲ならそのままにしている。参加者に迷惑がかかるような場合は連れ出したりすることもある。

(3) 海外紀行～世界あちこち（フランス編）(11 月開催予定)

【概要】

・日本人に馴染み深いフランス・パリについて、旅行のエピソードや歴史などを踏まえて楽しく聞いていただけるよう話をしたい。

【意見】

・各地に行かれているのですが、言葉は通じるのですか。
→どの国でも英語が出来れば通じます。運転士さんなんかは必ず通じます。
・フランスでは英語に対して冷たい対応だと聞きましたがどうですか。
→こちらがブロークンな英語でも対応してくれます。

<イベント報告>

(1) 8 月 8 日（土）補助金の利用でお住まいを快適に！

新築時に補助金の利用で窓ガラスをペアガラスなどにすることでコストを抑えて快適な住まい作りに活用してもらうセミナーを開催した。

・新築だけですか。
→次回、リフォームについてセミナーを開きます。

(2) 9 月 3 日（土）朗読ライブ「腕におぼえあり」

10 回シリーズで前回から 4 か月の間も空いたことから参加人数が少し減ったと考えている。アンケートでは概ね好評だったので来月、再来月に続けて開催する。

(3) 9 月 5 日（土）気になる本で話そう「女らしさは誰のため？」

本を読んでいなくても参加できる敷居の低い読書会。ルールは、尊重、参加、回答、守秘で最初に丁寧説明した。今回も色々な意見がでた。初めての参加の方も意見を述べる事が出来て良かった。

・どんな意見が出ましたか。
→職場の話題が多く、女性らしさを求められても嫌ではないとの意見も出て、多様な意見が

出た。

- ・男性の意見はどのようなものか。

→男性もそれぞれの立場で意見が出ました。

(4) 9月12日(土) 海外紀行～世界あちこち(スペイン)

多くの方は良かったとの意見を頂いた。テーマが熱血闘牛と言うものでしたが、「闘牛を観光にするのも見に行くのもどうかと思います」「闘牛観戦を私は見たくない、かわいそう過ぎる」との意見があった。

- ・アンケートで本音の意見を書けることは良いことだと思います。

→わかりました。

(5) 9月6日(日) ことば蔵こども作戦会議 2026

8月末までの活動だったが、子ども達がそれぞれにしたい事でイベントがしたいとなった。実際にイベントの計画を考えだしたら大変なことも分かってきた。この会議で出たダンボールで草などを作って雰囲気を出すなどの意見を頂いてモチベーションがあがったようだ。

- ・大人たちのアドバイスが的確でよかった。

- ・交流フロア運営会議らしい話し合いだった。

(6) 9月13日(日) 第4回きつと役立つ! 偉人の名言・名句等をわかりやすく解説する講座

アンケートの結果、参加者は、60代～80代が多く概ね良かったと言ってもらえている。いい意見も言ってもらえているが少し名言を減らしてゆっくり深掘してほしいとの意見があった。次回に検討する。

(7) 9月13日(日) 工作で災害について学ぼう! キッズサバイバー講座(地震編)

海溝型地震の原理模型を作ってもらった。アンケートでも子ども達は工作を楽しんでくれた。保護者も最近大きな地震もあったことから熱心に聞いてくれた。

- ・参加人数が増えてきている。

→工作をしていることが要因だと思う。

(8) 9月13日(日) 応急手当体験会

乳幼児と成人の応急手当を体験してもらった。親子で参加してもらって興味を持ってもらえたと思う。実際の応急手当と体験会では大きく違うところがあるが、参加してもらったことで少しでも自信を持ってもらうことが出来た。

(9) 9月30日(水) 漫画を語ろう

常連の親子と男性との4人の参加だった。テーマで本を持ってきましたが、話が脇にそれますので、テーマはあってないような感じで進んでいます。古書店で漫画を買ってきたりしているので、その話題や昔のお金などの話題でも盛り上がった。

・古い本を集めているのか。

→小学生が集めている。

(10) 10月4日(日) 朗読ライブ『秋の村上春樹祭』

春の朗読ライブより参加者が減った。今までの経験から朗読ライブは春の方が参加者多い傾向があるように感じる。参加者は、枚方や大阪市外、高石の方の参加があった。アンケートでは、「村上春樹がこんな作品を描くのか」との意見があった。ファンとの対談も行ったことで朗読ライブ終了後にファン同士の対話が生まれていた。今回は知り合いの方が村上春樹の似顔絵を持ってきたのでイベントが盛り上がった。今後オーボエ奏者の方やお琴の先生、子ども科学館とのコラボも計画している。

・村上春樹のイベントが好評だがシリーズ化するのか。

→4月の音出しイベントで出来ればと思います。今年は風流が開催されていたのでその兼ね合いで春休み中の子供向けイベントが出来ればと考えている。

・宮本輝さんの朗読はどうか。

→丁度良いサイズがないので難しい。

4 次回の運営会議 2026年11月4日(水) 18:30~ことば蔵1階交流フロア